

第1学年 音楽科学習指導案

1 題 材 名 曲想を感じ取り、表現を工夫してアルトリコーダーを演奏しよう

2 題材の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (2) 「春」の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。
- (3) 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、アルトリコーダーの演奏や音楽活動に親しむ。

3 教 材

「和声と創意の試み」第1集「四季」から「春」第1楽章 A「春が陽気にやってきた」

ヴィヴァルディ作曲

4 題材について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は音楽の授業に積極的に参加し、感じたことや疑問に思ったことを活発に伝え合ったり、瑞々しい感性で音楽を捉えて鑑賞文を書いたり、主体的に学習に取り組むことができる。とりわけ歌唱表現に対する関心が高く、伸び伸びと歌うことや表情豊かに身体表現をすることに対する抵抗感が少ないことから、元気いっぱいの歌声を教室中に響かせている。しかし、アルトリコーダーは「指使いが難しいから苦手」「小学校の時と楽器の大きさが変わったので、難しく感じるようになった」など消極的な一面も見られ、苦手としている生徒も多い。リコーダーを演奏するための基本的な技能の習得を目指しながら、仲間とともに練習を積み重ねることで、楽しく演奏出来た達成感を味わわせたい。そして楽曲や楽譜から音楽のよさや美しさを主体的に感じ取り、よりよい表現の方法を見出しながら、自分なりのイメージを生かした演奏をするための技能を身に付けさせたいと考えた。

(2) 教材について

ヴィヴァルディ作曲「春」第1楽章から“春が陽気にやってきた”の部分を取り上げる。この曲はソネットをもとに作曲されており、ヴィヴァルディがそれぞれのソネットの情景をどのように音楽で表したのかが知覚・感受しやすい作品である。また、弦楽器アンサンブルやチェンバロの音色、形式が生み出すバロック音楽の美しさも感じ取ることができる教材である。

(3) 指導に当たって

この教材は4月に鑑賞領域での学習も行い、音楽を形づくっている要素を手掛かりとして学習を深めてきた。生徒たちにとっては耳なじみのある曲であるが、アルトリコーダーに触れて間もない1年生の習熟度を考慮し、原調からハ長調へと移調することで、運指の難易度を下げた。これまでに習得した運指で演奏できるように工夫することで、器楽演奏の苦手な生徒に対しても「演奏できた」という達成感を味わわせたい。また、グループ活動を取り入れ、協力し、仲間とともに楽しく演奏活動できた経験を積み重ねることで器楽演奏の楽しさや奥深さを知ってほしい。そして、これらの経験が今後の音楽活動への意欲につながってほしいと願い、本題材を設定した。

5 本題材で扱う学習指導要領の内容

第1学年の目標と内容

A 表現

ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。

イ（ア）曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。

ウ（ア）創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けること。


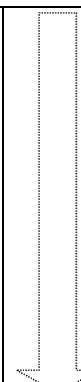
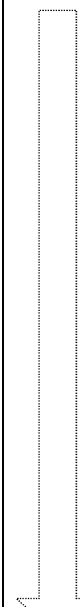
[共通事項]（1）

（本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「音色」「リズム」「旋律」）

6 題材の評価規準

知 識・技 能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 技 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	思 「春」の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現として、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	態 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

7 指導と評価の計画（全3時間）

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価（◆評価方法）		
		知・技	思	態
1	◎「春」をアルトリコーダーで演奏するための基本的な奏法を身に付ける。 ○楽譜に階名と運指を記入する。 ・ワークシートを配付し、楽譜に書き込んで確認する。 ・階名唱を行い、曲の完成の見通しをもつ。 ○運指が難しいポイントを練習する。 ・練習表を配付し、確認できたところにチェックを入れながらスモールステップで練習を積み重ねる。 ○本時のまとめに動画撮影を行う。 ・本時のまとめと、次時での振り返りのために MetaMoJi Classroom に動画を残す。			
2 (本時)	◎ヴィヴァルディの「春」のイメージを話し合い演奏の工夫をする。 ○演奏する「春が陽気にやってきた」の部分が、原曲ではどのような雰囲気だったのか振り返る。 ・4月に学習したワークシートを手掛かりにしながら意見を共有する。 ○伝え合ったイメージをアルトリコーダーの演奏にどのように生かし演奏したらよいか考え、共有する。 ・音色、リズム、旋律を工夫し、イメージに合った演奏方法を考えるよう促す。 ・実際に練習して確認する。 ○工夫したことを班ごとに中間発表する。 ・特にこだわって練習したポイントを発表し、演奏する。 ○本時のまとめに動画撮影を行う。 ・本時のまとめをワークシートで行い、振り返りのために動画を残す。	知 ◆ワークシート ◆観察	思 ◆ワークシート ◆観察	
3	◎工夫したことを生かし、仲間とともに息を合わせて演奏する。 ○楽譜とワークシートをもとに前時に考えた工夫を確認し練習する。 ・前時の動画を確認することで客観的に自分の演奏を振り返る。 ○班ごとに演奏を発表する。 ・聴くポイントを確認し、演奏する。 ・互いの演奏を聴き合い、意見を交換する。 ○全合奏の華やかな雰囲気を味わいながら全員で演奏する。 ・通奏低音（チェンバロ）の部分をピアノで加え、演奏する。 ○学習のまとめに動画を撮影し、ワークシートをまとめる。 ・表現の工夫をしたことでどのように音楽が変化したか、どのように感じたかを具体的に振り返る。	技 ◆ワークシート ◆動画		態 ◆ワークシート ◆観察 ◆動画

8 本時の学習

(1) 目 標

「春」「春が陽気にやってきた」の音楽の特徴である音色、リズム、旋律などから知覚・感受したことを器楽演奏に生かし、演奏の工夫をする。

(2) 展 開 (2 / 3 時間)

学習活動	○指導上の留意点	◇評価規準 ◆評価方法	要素
1 前時の学習を振り返り、本時の目標を確認する。	○前時の学習で難しかった部分を取り出し練習させる。		
「春が陽気にやってきた」のイメージをアルトリコーダーに生かして演奏しよう			
2 「春が陽気にやってきた」のソネットのイメージを話し合い演奏の工夫をする。	○「春が陽気にやってきた」のソネットが表現している音楽の特徴を確認してワークシートに記入し、共有する。 ○イメージに合う表現をするために、どのような演奏の工夫ができるかを考えさせる。	◇曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ◆観察・ワークシート【知】 ◇「春が陽気にやってきた」をアルトリコーダーで演奏するときの音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい器楽表現として、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	音色 リズム 旋律
3 グループごとの演奏を聴き合う。	○どのようなところを工夫したか、グループごとにポイントを紹介してから演奏させる。 ○他のグループを聴いて、気付いたり感じたりしたことを発表する。	◆観察・ワークシート【思】	
4 本時のまとめをする。	○動画撮影を行い、思いや意図をもって音楽的に表現するためにどのような工夫が必要かについて、次時の自分自身の課題を確認し設定させる。		

(3) 評価及び指導（手立て）

A「十分満足できる」と判断される具体的な状況	知 音色、リズム、旋律などに着目し、自分が感じ取った曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができおり、ワークシートに具体的に記入することができている。
	思 表したいイメージと奏法が整合しており、どのように演奏したいかについてワークシートに具体的に記入し、実際の演奏に生かすことができている。
B「おおむね満足できる」の状況を実現するための具体的な指導（手立て）	知 感じ取った曲想から、どのような演奏の工夫が考えられるか対話するなどしながら、生徒が自分の言葉でワークシートに書くことができるように促す。
	思 生徒と対話したり、実際の演奏を確かめたりして、難しさを感じていることを把握し、奏法の具体例や、記入例を挙げるなどの助言をして、工夫できそうなポイントに気付かせる。